

吉田よしのり

通信 第147号 2010年 秋冬号

新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)

電話 048-483-2777

FAX 048-483-2780

ホームページ <http://www.yoshiday.com>

メール saitama@yoshiday.com



【発行：民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

●1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(36才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪市新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て、法政大学法学部を卒業。卒業後、野村證券に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。勤務中は、ファイナンシャルプランナー(AFP)資格、アナリスト・経済・資格等も取得、生の経済を学ぶ。●2000年2月、新座市議会議員に史上最年少、25歳で、市政始めて以来の 3,855票でトップ当選。●2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。財政問題、教育問題等を中心に取り上げる。●2007年4月、同選挙に 23,062票、トップにて再選。無所属、民主党を中心とした会派を結成。自民党に次ぎ約20名を擁する第二会派の政策審議会長をつとめる。●趣味は、旅行、水泳、サイクリング、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。好きな言葉は「初心不可忘」「お前がやらずに誰がやる、今、やらずしていつできる」



全国で対立している「議会・首長」の問題は何か?!



(写真上・上田知事を招いての県政報告会)

鹿児島県の阿久根市や愛知県名古屋市、また、埼玉県内でも草加市など、議会と市長が対立し、議会無視(阿久根市)や、議会の解散(名古屋市、草加市)、市長のリコール(草加市)などが起こるなど、一種異様な状況が全国でおこっています。

国の総理大臣は、国会議員による投票で決まる、わかりやすい議院内閣制です。

一方、新座市長や埼玉県知事といった首長は、市議会議員や県議会議員の投票で決まるのではなく、あくまでも市民や県民が直接選挙で選ぶ仕組みとなっています。そこに、「ねじれ」が生じてしまいます。

市議会議員や県議会議員も選挙の時には「選挙公約」を掲げて当選し、市長や知事も同じく「選挙公約」を掲げて当選しますので、どちらの公約が優先されるか、という問題が生じる訳です。

埼玉県でも上田知事が当選した際、上田知事の政策を支持する議員グループは私を含め、少数でしたので、埼玉県議会でもしばしば議論が

長引きました。

しかしながら、そこで単なる対決をしても被害を受けるのは県民です。随分汗を流した記憶がありますが、徹底的に議論を行い、議会サイドも一定の妥協をし、知事サイドも一定の妥協をもらい、色々な懸案について、議案を成立させていました。

いま、名古屋市や阿久根市を見ていて、そういった議論がなされているのか、そういった努力がなされているのか、はなはだ疑問です。単なるパフォーマンスや、政策論争ではない単なる感情的なもののように見えてなりません。

もちろん一定の妥協はあったとしても、馴れ合いになってはいけません。お互い政策をぶつけながらも、協力すべきところは協力するというスタンスが、議会と首長の間には非常に重要



だと考えています。

さて、最近、大阪府知事は地方議会も国のように議院内閣制にし、議員を「財政部長」や「福祉部長」といった、執行部(行政側)の役職に就

けるべきだという意見も出ています。一方、議会の監視機能が低下するとそれを批判している意見もあります。今まさに、議会と首長の今後の在り方が大きく変わる時代となっています。

いま、日本の地方議会は、人口数百人の小さな村議会から、1,000万人を超える東京都議会まで、議会運営の仕方や報酬体系など、ほとんどの部分で同じ制度となっています。今後、例えば、小さな村議会は名古屋市長が言うようなボランティア議員で活動してもらおうのも一案です。

しかしながら一方、地方政治の重要性が増す、東京都や埼玉県といった、大都市議会議員は政策秘書も雇い、しっかりと行政をチェック出来るような仕組みにしたりするなど、地域の実情に合った地方議会制度が必要だと私は考えています。

スタッフよ一言!

主婦9年目の鈴木です。政治とは無縁だった私が知人をきっかけに県議の手伝いをする事になりました。

私にとって政治は難しい世界です・・・が、県議の疑問や不満をぶつけることで色々教えてもらい、少しずつ興味を持ち始めています。

そんな県議ですが、子供からはトイストーリーに出てくるウッディーに似ていると騒がれています。写真では似ていませんが実物は似ていますよ・・・多分・・・?

吉田よしのりの一言!

高校、大学時代と通じて政治の勉強を行っていたときの政治学者・丸山真男氏の一言を今ほど痛切に感じることはありません。

それは、「政治とは所詮「悪さ加減」の選択である。」です。政権交代にかけた思いが、皆様同様高かっただけに、最近「・・・!!」と思うことが多々あります。

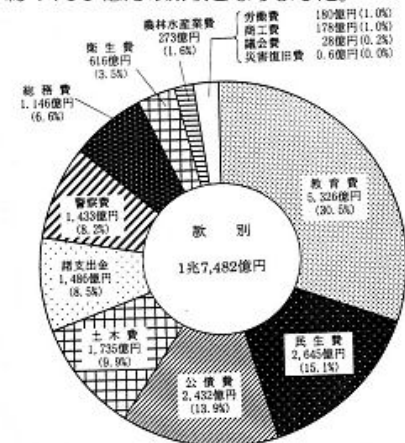
八ツ場ダム問題初め、県政と密接に結びつく課題も多く、県議会でも色々和右往左往することも多いこの頃です。

少なくとも細川連立政権が崩壊した二の舞とならないように、安定感ある政治を行ってほしいものです。・・・マルクスがかつて言ったように「歴史は繰り返す。ただし二度目は喜劇として」ならば、本当に救いようがありません・・・

埼玉県や新座市の財政状況!

このほど、埼玉県や新座市の決算をはじめ、県内各市の決算状況が公表されました。

昨年度は新型インフルエンザが猛威を振ったため、それに対する関係経費が増加したほか、県内の保育所整備の推進等(ちなみに、新座市内においても平成 23 年 4 月より道場地区内、馬場地区内に新たな保育所が整備されます)福祉関係経費の増加などに伴い、一般会計歳出総合計 1 兆 7500 億円のうち、歳出は約 440 億円増加することとなりました。また、歳入については法人税収入の落ち込み等から約 1100 億円の減収となりました。



埼玉県では、財政の健全化に向けた、行財政改革プログラムを平成 20 年度から実施しており、埼玉県の意思で発行を抑制できる通常債(通常の借金)は前年度に比べ減少させているものの、国の制度の都合上発行せざるを得ない特別債等(国が作った制度上、埼玉県として発行せざるを得ない借金)が増加しているため、県債残高は昨年度より増え、合計 3 兆 2262 億円となっています。

一方、国の定めた財政健全化のための指標を見ると、いずれも基準はクリアされており、全国的に比較すれば埼玉県の財政状況は決して悪くはないものの、引き続き、財政健全化のためのチェックを行ってゆきます。

また、新座市を含めた埼玉県内 64 市町村すべてが、国の定めた、財政の健全度を測る早期健全化基準及び財政再生基準をクリアすることとなりました。

ヨーロッパ型福祉かアメリカ型自由か?

～ 埼玉県政世論調査から～

日本政治学会の理事長で、北海道大学教授の政治学者・山口二郎氏などが 2007 年に行った調査によると「望ましい国の形」を尋ねると、58.4%の回答者が「北欧のような福祉を重視した社会」と回答し、31.5%が「かつての日本のような終身雇用を重視した社会」を選んだということです。

逆に「アメリカのような競争と効率を重視した社会」と回答したのは 6.7%にとどまったということです。



さて、毎年定期的の実施している平成 22 年度の埼玉県政世論調査によれば、直近急激に伸びている県政要望は一位が「高齢者福祉サービスの充実」、二位が「医療体制の整備」というものです。

アメリカの医療には高額の治療費がかかるといわれていますが、埼玉県民のみならず、日本人にとっては、一定の負担はやむを得ないので、しっかりとした社会サービスを望んでいるという結果だと感じています。「社会サービス」のことをスウェーデン語では「悲しみの分かち合い」と言うそうです。なかなか言い当てているように感じるのは私だけでしょうか。

ちなみに、埼玉県政世論調査における県政への要望事項で、一昔前まで相当大きかったのが「防犯」に対する要望でした。おかげさまで、警察官の大幅増員や地域防犯ボランティアの急激な増加(なお、防犯ボランティアの数は埼玉県は東京都よりも多く、断トツの日本一です)により、少しずつ要望が減ってきています。ボランティアの方を中心に皆様のおかげです。

吉田よしのりの一行日記

(詳細はホームページにて公開中!)

- 9/1-2 埼玉県議会・企画財政委員会
- 9/3 県議会打ち合わせ会議、結婚披露宴等
- 9/4 事務所事務処理、地域訪問等
- 9/5 市民福祉バザー開会式、後援者祝賀会
- 9/6 大泉学園駅頭、県議会定例議会会議等
- 9/9-10 県議会、新座市役所、地域事務所会議
- 9/11 市内老人ホーム、障害者団体秋祭り等
- 9/12 市内敬老の集い、後援会幹部挨拶回り等
- 9/13 清瀬駅頭、県議会・補欠選挙会議等
- 9/14-16 新座駅頭、市内地域訪問等
- 9/17 ひばりヶ丘駅頭、県議会・議会運営委員会
- 9/18 五中運動会、自治学会、戦没者追悼式典
- 9/19 地方自治研究学会、町会敬老の集い
- 9/20 市内地域訪問、後援会幹部会
- 9/21 志木駅頭、交通安全キャンペーン、会議等
- 9/22 朝霞駅頭、地域機関打合せ会議等
- 9/24 県議会・議会運営委員会、本会議
- 9/25-26 市内地域訪問、市議・市政報告会
- 9/27-28 上田知事打合せ、議会・議案調査等
- 9/29 地元代議士打合せ、議会・議案調査等
- 9/30 県議会運営委員会、本会議質疑
- 10/1 東久留米駅頭、県議会本会議質疑
- 10/2 後援会事業、後援会役員会打合せ会議
- 10/3 市民体育祭開会式、監製表彰祝賀会
- 10/4 県議会本会議、会派内会議等
- 10/5 大泉学園駅頭、県議会本会議、懇親会等
- 10/6 県議会・議会運営委員会、本会議質疑
- 10/7 清瀬駅頭、常任委員会打合せ、議案調査
- 10/8 県議会・企画財政常任委員会
- 10/10 新座市商工会青年部、商工フェスタ事業
- 10/11 事務所会議、市内地域訪問等
- 10/12 事務処理、特別委員会・議案調査等
- 10/13 新座団地朝キャン、難民支援協会等
- 10/14 県議会・議案調査等、採決確認等
- 10/15 新座駅頭、県議会本会議等、議案採決
- 10/16 事務所ミーティング、市内地域訪問等
- 10/17 学童運動会、障害者施設運動会等
- 10/18 ひばりヶ丘駅頭、市内地域訪問等
- 10/19 志木駅頭、防犯街頭キャンペーン等
- 10/20 埼玉県議会・議会運営委員会
- 10/21 議会運営委員会、市議市政報告会等
- 10/22 老人クラブスポーツ大会、家庭保育室会
- 10/23 日本財政学会・研究会
- 10/24 健康祭り、俳句大会、茶道連盟、民謡会